

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度不破高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年10月29日 (金)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	竹内 治彦	岐阜協立大学学長
副会長	和田 満	垂井町教育委員会教育長
委員	中川 敏之	関ヶ原町教育委員会教育長
	長谷川 妙子	関ヶ原町教育委員
	林田 力	不破中学校校長
	小川 美紀子	官代こども園園長
	吉田 茂喜	特別養護老人ホームいぶき苑施設長
	中村 美幸	地域住民
	高木 佐知子	地域住民
	高木 淳一	不破高校PTA会長

### オブザーバー

- |        |               |
|--------|---------------|
| 富田 栄次  | 垂井町議会議長       |
| 鉄井 宣人  | NPO 法人泉京・垂井   |
| 廣瀬 みどり | 垂井町食生活改善協議会会長 |

- |     |       |    |
|-----|-------|----|
| 学校側 | 大橋 雅之 | 校長 |
|     | 橘 博   | 教頭 |

## 5 会議の概要 (協議事項)

### (1) スクール・ポリシー案の承認

### (2) 意見

#### ○スクール・ポリシー案について

意見1：カリキュラム・ポリシー (CP) の「学び直し」を大切にしていることは分かるが、主体的に課題解決に取り組み学びを高めていく生徒についてはどうか。

⇒ 個々の具体的な到達目標を設定させ、5つの類型による教育課程を編成し、進路希望に即した科目選択を充実させることとしている。

意見2：本校ならではのゆるぎない教育活動が成績概況や登校状況などに表れている。スクール・ポリシーが在校生・保護者だけでなく、中学校の先生、入学を考える中学生、保護者、更には地域にも伝わっていくとよい。

意見3：策定にあたっての考え方は良いことである。いずれは職業人として困難にぶつかることもあり、「育てたい生徒像」の中に、「主体的に課題解決に取り組む」「基本的な生活習慣」「互いの人権を尊重」等の重要な視点が含まれていてよい。

意見4：「グラデュエーション」等見出しの表現が分かりにくい。英語にする必要があるのか。名詞表現と文表現が混在している。

⇒ 県の統一様式である。

意見5：これまでの学校経営マニフェストに示されている内容が、よりすっきりと整理されて更にわかりやすくなっている。

意見6：これまでの活動や方針、その背景にある思いが丁寧に整理されている。

○「校則の見直し」等について

意見1：今後のことを考えて、改正手続きを追加したことは大切である。

意見2：「校則見直し」の視点を明確にして、確かなステップで取り組んでいる。生徒達は制服の必要性も考慮し、真剣かつまじめに考えている。

意見3：素晴らしい取組である。

意見4：生徒会を中心に協議する時間と場があり、生徒の声として願いを発信しているところに主体性が感じられる。教員の生徒を思うが故の校則であるという側面も理解しているところもよい。

意見5：性的少数者などへの配慮で制服標記を変更しているが、資料上では性別が併記してあり違和感がある。多様な生徒に寄り添う学校運営を続けてもらいたい。

意見6：生徒からの要望に対し、話し合いを行うことは良いことである。

○学校体育施設の開放ほか、学校運営全般について

意見1：地域社会との連携も大切であるので、開放は必要である。

意見2：学校運営協議会の影響力の大きさを考えると、やはり対面での開催が望ましい。また、事前に資料をもらいたい。

⇒ 第3回は是非対面で開催したい。その際も資料を事前に送付する。

意見3：コロナ感染防止に努めつつ、学校行事、地域連携活動等を推進することは大変だったと思う。

意見4：生徒・教員の協力により行事が大盛況であったことに感謝する。生徒にとってフェアトレードやSDGsについて学び、地域の人と交流する機会になったならば幸いである。

意見5：各分野で活躍する卒業生とさらなる交流を深めてもらいたい。

意見6：グラウンドと同じように体育館も利用できるようにしてもらいたい。

⇒ 室内施設は県立学校でもほとんど開放しておらず、施設や鍵の管理が難しいため今後も開放はしない予定である。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会において、スクール・ポリシー案について、全委員より概ね承認が得られた。今般のコロナ禍を考慮して、本協議会を書面開催としたが、各委員から忌憚のない意見が得られた。これらの意見を参考にしながら、個々の生徒の自己実現を図るために今後の事業に取り組んでいく。

次回（2月）の協議会は、感染状況によるが、対面で実施し、スクール・ポリシーの策定を行う。